



背景 日本国現報善惡靈異記

受講生募集
無料
先着40名



■講師 **山田 純氏**
 相模女子大学
 日本語日本文学科
 教授(上代文学専攻)

■募集要領

- 1月5日(金)午前9時より受付開始
- 先着40名
- 受講料 無料
- 申込・問合せ:042-755-6000
- 主催 公民館文化部

■講座スケジュール (2024年)

●第1回 2月7日(水) 午後2時~4時

とにかく不思議な話を集めました
 —堅いイメージの仏教とは程遠い『霊異記』—

●第2回 2月14日(水) 午後2時~4時

「個人」の発見
 —自己責任という呪縛と、そこからの救済—

●第3回 2月21日(水) 午後2時~4時

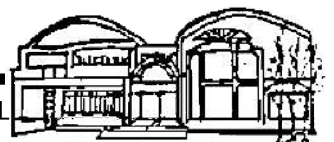
自らの「死」は自覚できないがゆえに
 —極楽往生の確証を求めて—

<詳細は裏面に>

木もれびの森大野台公民館

相模原市南区大野台 5-16-38

<http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kouminkan/oonodai-k/>



「仏教説話」を楽しむ

- 霊異記から往生伝・法華験記 -



■講座概要

仏教説話集には一むろん禁欲的な高僧の伝記もありますが一奇妙で猥雑な話も多くあります。それらを楽しみつつ、なぜ日本でこうした仏教説話が多く作られたのか、人々がそれを求めた理由に至るまでを、歴史的にも追っていきましょう。

■講義内容

●とにかく不思議な話を集めました一堅いイメージの仏教とは程遠い『霊異記』一

仏教説話とは布教のためのメディアです。まずは面白い話で耳目を集め、そこに仏教の奇蹟・効能を織り交ぜて人々に仏教の有り難さを伝えます。教義のような難解さとは無縁なのです。まずは仏教説話の不思議な(または猥雑な)世界に足を踏み入れてみましょう。

●「個人」の発見一自己責任という呪縛と、そこからの救済一

仏教は外来の宗教です。これが日本に与えた最大のカルチャーショックは、地獄に落ちるのは「個人の責任」という部分でした。凶作なら村全体が困窮する運命共同体に生きていた日本人が、墮地獄も極楽往生も個人次第という仏教に傾いた経緯を追います。

●自らの「死」は自覚できないがゆえに一極楽往生の確証を求めて一

日本で最初に熱狂的に仏教を支持したのは中小貴族の階層でした。彼らは争うように仏教説話集を編纂します。あらかじめ経験することができない「自分の死」を前にして「極楽往生の先物買い」をする、そんな彼らの切なる願いを見届けましょう。

■講師のプロフィール

●山田 純氏



1977年6月生まれ。千葉県出身。明治大学大学院で博士号を取得後、白百合女子大学・フェリス女学院大学・大東文化大学・明治大学等の非常勤講師を経て、現職。主要業績に『日本書紀典拠論』(2018年5月 新典社)がある。

初めまして、山田です。名の「純」は、6月生まれだから、Juneなのだ、と父親から聞かされてきました。誇らしく感じておりました。姉は7月生まれなのに「ジュリ」でなかった点だけが「？」でした。大人になりコンビニで「宝焼酎 純」というお酒を発見しました。私が生まれた日は、この焼酎の発売日でした。それゆえの純だ、というのが真実でしょう。父の家業は酒屋で、出生の日は発売記念パーティーで不在でした。間違いありません。がっかりしました。その後、我が家で犬を飼うことになりました。その犬は5月に生まれたので、メイと名付けられました。犬と同じ名前基準の山田です。奈良時代文学を研究しています。よろしく願いいたします。